

コミュニケーションの穴

木内厚子

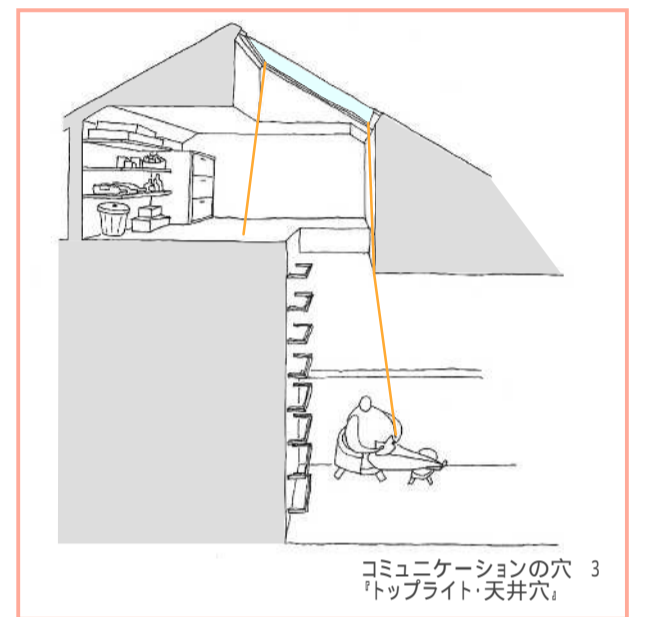
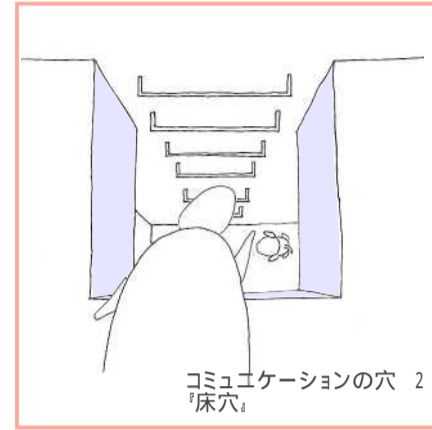
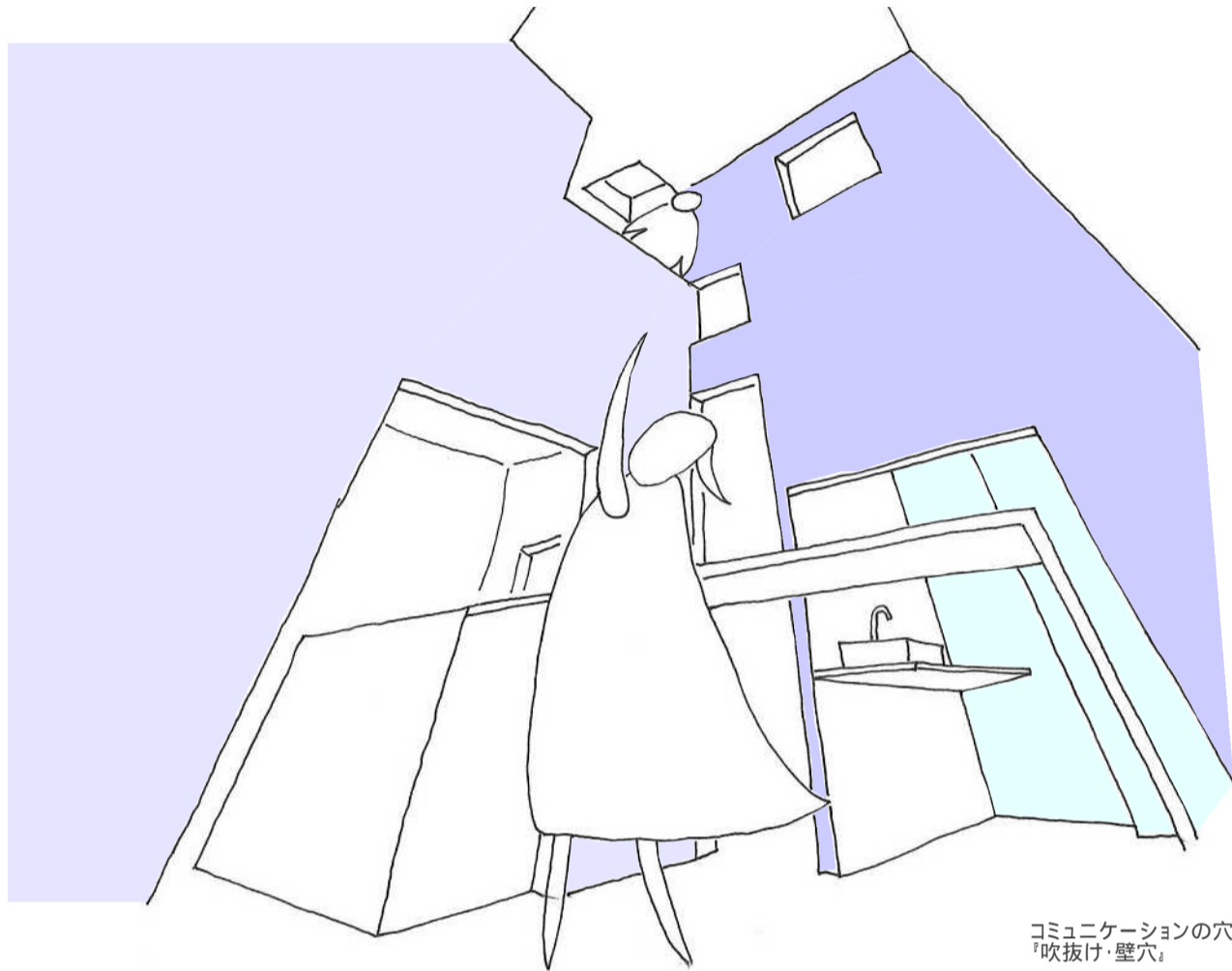
STUDIO 8

スタジオエイト
一級建築士事務所

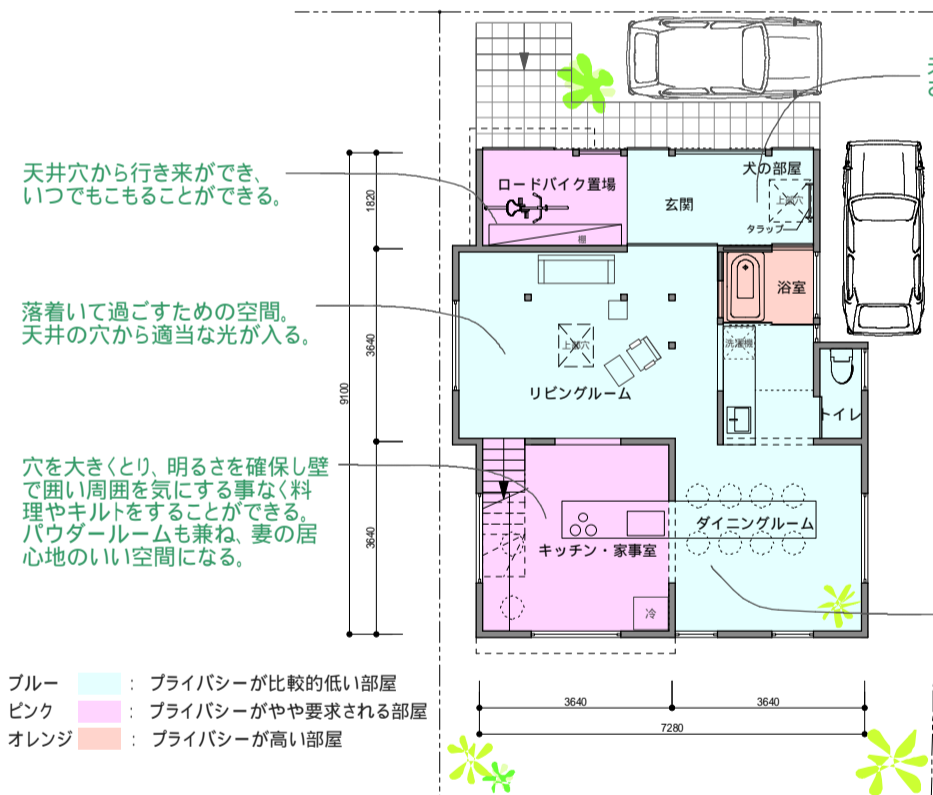


お互いの距離を保ちつつ、それぞれが独立する事なく程よい距離を保つことができる住宅。
そして、2人で一緒にいる時間も大切に作るこの夫婦のために作った住宅を提案します。

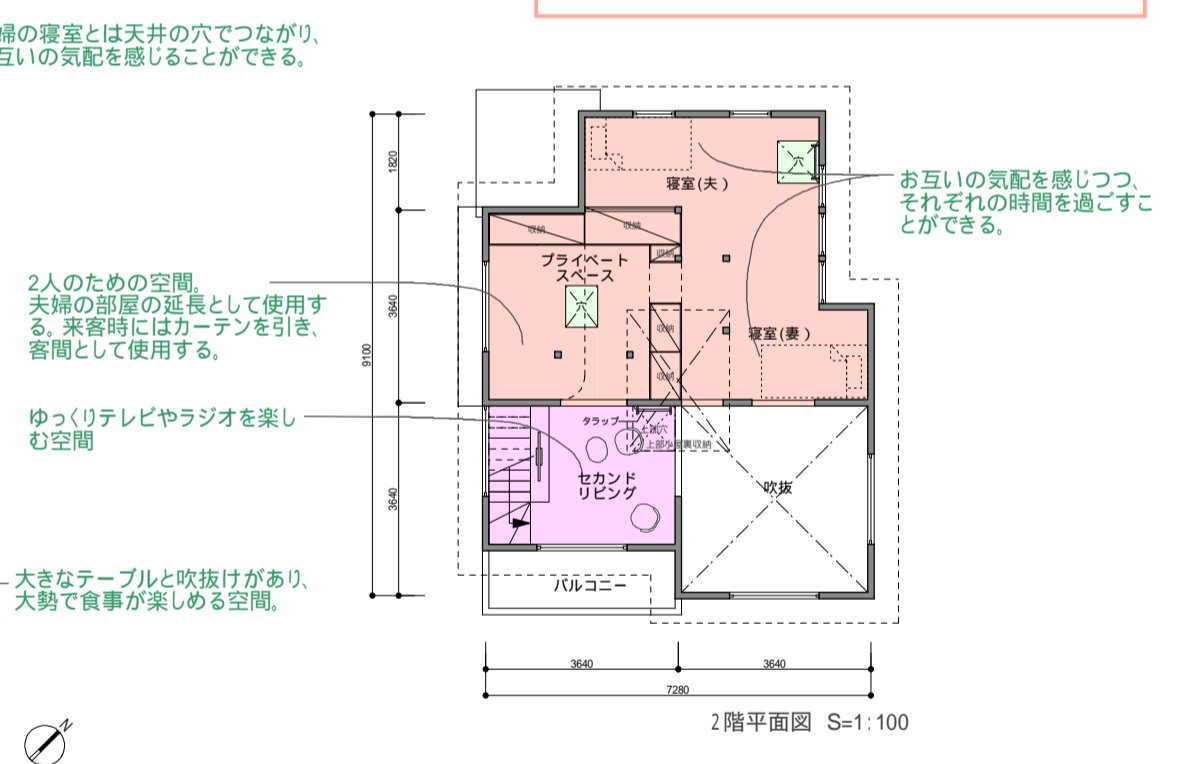
リノベーションという枠組みの中で夫婦の生活スタイルを満喫するために何が出来るのかと考えた時、
壁に大小の穴を開け、お互いの気配を感じながらも個々の時間を大切にできる空間が良いのではないかと思います。
壁に開けられた大小の穴からは、人の気配や、光や風などを取込むことができます。
また、穴は必要に応じてカーテンなどで閉じる事もでき、空間に変化を与えます。



コミュニケーションの穴 1
「吹抜け・壁穴」



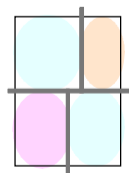
配置図・1階平面図 S=1:100



「リノベーションでできる夫婦のための住宅。」
この答えを出すことが今回のリノベーションで大切ではないかと考えた。
リノベーションという制約のある中で、自分らしく、そして仲良く過ごせる夫婦のための家づくりを目指した。

穴の持つ意味

となり合う部屋は大小さまざまな穴から出入りする。
この穴は室内の明るさや広さに影響し、空間に変化を与える。
天井に開いた穴は、1階と2階をつなげ、のぞき窓的な役割を持つ。
同時に2階の床では空間をあいまいに分ける働きを持つ。
また、2階天井に開けられた穴はトップライトから光を取り込む。



穴の配置

廊下をなくし、部屋のみで構成されたこの家は、プライバシーの重要度により穴の開け方を決定し、部屋を配置した。

穴の効果

穴の大きさや位置により、それぞれの部屋に性格を持たせ、隣り合う部屋を緩やかにつなげる。



ファサード立面図 S=1:100

玄関の一新

玄関の雰囲気を変えたい、犬の部屋の環境を良くしたいとの要望から、北側の玄関の壁を取り払い、光と風の入りやすい素材を一面に使い、半屋外的な場所とした。3つの扉は引き戸とし、開け放つことができる。

DATA

敷地面積	141.87㎡		
建築面積	62.93㎡ (19.0坪)	建蔽率	44.3%
延床面積	119.24㎡ (36.0坪)	容積率	84.0%
2階	56.31㎡		
1階	62.93㎡		
工事費概算	撤去費	200万円	
	建築費	1800万円	